

これまでの審議での意見・質問について

1. 第1回審議会(令和4年11月29日)

- ① 一般家庭は口径13mと20mということだが、市全体で13mと20mの割合はどれくらいなのか。

令和3年度

| 口径13ミリ | 口径20ミリ | 口径25～100ミリ |
|--------|--------|------------|
| 89.86% | 7.23% | 2.91% |

- ② 料金改定により年間どれくらいの増収を見ているのか。

(単位千円：税抜き)

| 項目 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | 合計 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 水道料金 | 788,662 | 781,327 | 774,061 | 766,862 | 759,730 | 3,870,642 |
| 改定増収分 | 39,955 | 39,584 | 39,215 | 38,851 | 38,489 | 196,094 |
| 水道料金合計 | 828,617 | 820,911 | 813,276 | 805,713 | 798,219 | 4,066,736 |

- ③ 改定額は出ているが、改定率はいくらなのか。

平均改定率 5.07%

- ④ 従量料金の区分は、前からなのか。その区分を変える検討はしていないのか。

平成19年に市内の料金を統一したときからこの区分である。区分を変えることは検討していない。今回基本水量を主な改定点としている。

- ⑤ 口径ごと、使用量ごとの割合を示してほしい。

追加資料として提出。⇒ 別紙

- ⑥ 1人暮らしの高齢者に負担がかからないようにしてほしい。

小口使用者にも少ないが配慮している。使用口径13ミリで4m³以下の人は値下げになるように考えている。

- ⑦ 支出を補うには収入を上げるしかないと思うが、一般会計からの繰出金がだんだん減っていく中、市からもっと補助金を出すわけにはいかないのか。

様々な行政サービスがある中で、優先順位をつけながら行っている。一般会計からの繰出金は、減っている傾向にあるが一般会計で負担すべきところはしっかり負担しながらサービスの維持、持続を図っていきたい。

- ⑧ 小口家庭への配慮だけでなく、8人家族などの一般家庭にも配慮が必要ではないか。

従量料金の値上げは据え置きにさせていただいている。配慮させていただいた点としてご理解いただきたい。

2. 第2回審議会(令和4年12月27日)

- ① 基本水量は県内でどのくらいが廃止しているのか。
松江市、浜田市、邑南町、吉賀町、知夫村
- ② 水量のカウントで端数はどうなるのか。
メーターの仕組みとして1 m³ずつしか動かないので、端数は次の検針の時に来月分として計算されるようになっている。
- ③ 水質は県内でもいいと思っている。もっとおいしい水をアピールすべきだ。
- ④ 一般会計からの繰り入れについて適正な規模はどのように考えているのか。
できるだけ下げたいという思いもあるが、雲南市の場合は町村が合併して市になったので状況が違う。ある程度高い繰入が必要なのも事実でありやむを得ないと思う。
- ⑤ 補助金を受けてできる事業はないのか。
耐震化交付金というものがある。これは今耐震化されておらずかつ40年以上経過した基幹管路に適用される。今年雲南市では150ミリ以上の管を、交付金を使って更新工事をしている。

耐震化交付金事業費

(単位：千円)

| 年度 | 平成30 | 令和元 | 令和2 | 令和3 | 令和4 | 令和5 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 事業費 | 15,000 | 15,000 | 18,000 | 32,370 | 37,000 | 21,000 |

- ⑥ 広域連携の事例はないか。
島根県では事例はない。現在、島根県で広域連携の推進プランを作成中であり、今年度末に公表予定である
- ⑦ 電気代は病院でも大幅に上がっている。この計画で本当に大丈夫なのか。
見通しを立てるのに苦慮している。この予定額で足りるかどうかはわからないが、経費を盛って料金改定をするわけにはいかないため、現状で計画するしかない。